



2019年5月 やいろ鳥の会

(第152回) 活動と例会のご案内



やいろ鳥の会 会長 坂本勲

HP <http://khj-yairo.org/>

E-mail ja5cin@arion.ocn.ne.jp

水田には田植えの準備、空には薫風に泳ぐこいのぼり、一年で一番気持ちのよい時期かと思います。みなさま如何お過ごしでしょうか。

ひと月ほど前に内閣府から高齢ひきこもりの実態調査の結果が公表されましたが、やはり高齢のひきこもりが多いという結果が出てきただけでなく、職を離れることで誰でもいつでもひきこもりになっていく可能性が高いという状況が浮かび上がりました。ひきこもりという問題が個別にあるのでしょうか、それとも何か大きな問題が底流にあってその一つの現れとしてひきこもる人が多くなっているのでしょうか。

まだまだ分からないことが多すぎますが、何もしないわけにはいきません。時々刻々年を取り選択肢は狭くなり活動力は減退していきませんが、若者が元気になり親亡き後も自分の人生を生きていくための繋がりや手立てを講じていきたいと願っています。

そのためにはひきこもる心のケアが重要になると思われます。心に大きな傷を負った結果ひきこもるという状態になっている、その心のケアなしに支援の手が差し伸べられてもなかなか受け入れることは難しいのかもしれない。子どもの心をケアするために親は何ができるのでしょうか。

4月11日知事が農福連携の現場を視察

安芸市を中心に始まった農福連携が広がりを見せています。就労した20数名の若者の定着率が良いように思われます。11日に高知県知事が就労の現場を視察に見えました。



兵庫から来たF君が働いている農家さんのハウスです。全棟ナスを栽培していますがこれからは収量も増えて忙しくなります。

といろからも十市のナスのハウスに2名が、高岡のねぎの農家さんに1名が働きに出ていますが、働きだしたからOKというものではなく長い間寄り添いながらの伴走が大切になります。ムリせずに居場所とハウスをうまく使い分けて少しずつ自信を付けていければと思います。

またいつか、就労の体験談など聞かせてもらえたらと思いますので皆さんご期待ください。



視察の後で知事と農家さんとの意見交換の場面です。といろのM君は知事から名刺をいただいて大切に持っています。

F君も安芸での生活にだいぶ慣れてきましたがお休みがとれる時にはといろに顔を見せてくれることもあります。いろいろな人と繋がりながら人生を作り上げていく事ができるのは素晴らしい事だと思います。

親も自分の繋がりを新しく作り、自分の人生をより豊かにしていく事ができればと思います。



5月から薪割がお休みになります

相愛で薪割をしているM君はナスの収量が増えるのでしばらくの間、薪割をお休みしてナスの作業に行きます。秋になればまた薪割を再開できると思います。それまでに薪割を試みたい方が

いればメールまたは携帯で会長まで連絡してくれたら詳しい説明をします。楽しく体力増進になればと思います。作業日は金曜日の午後1時からで出来高払いです。

付き添いはやいろ鳥の会の会員が行きますが親と一緒に薪割をすることもできます。



4月の親講座

21日の親講座は高知県精神保健福祉センターの山崎所長を講師に「ひきこもりの地域支援」というテーマで講義をしてくださいました。参加者は親21名、兄弟姉妹1名、県職員2名、ファイナンシャルプランナー1名の合計25名が参加しました。

4月23日支援センターから3名がといろを視察

ひきこもり支援センターから安藤さん乾さんと新任の武石さんがといろの視察に来てくれました。いろんな話をしてみんなで写真をとりました。最後にといろの二階も見てもらいました。撮影者は0君です。



森木さんは引き続き精神保健福祉センターにいますが相談業務全体を担当することになりました。新任の武石さんも含めて相談業務は今まで通り3名で担当します。

よろしくお願ひ
しますとの
ことでした。



5月26日 日曜日は香川ポレポレ農園の松田先生

日時 5月26日(日) 午前中は個別面談(30分 3000円)を受けることができますので直接松田先生に申し込んでください。先生の携帯 090-8695-0904
13:30~16:30 講義、質疑応答、ピアカウンセリング等
会場 東部健康福祉センター(高知市旭町葛島4-3-3 電話 088-882-9380)
★13:00 開場 年会費の払い込みができます。

やいろ鳥の活動カレンダー

- ◆5月12日(日) 家族サロン 午後2時から4時半まで東部健康福祉センターにて
- ◆5月26日(日) 親講座 香川ポレポレ農園の松田勝先生。
- ◆6月9日(日) 家族サロン 午後2時から4時半まで東部健康福祉センターにて
- ◆6月30日(日) 親講座 県立大学教授田中きよむ先生
- ◆7月14日(日) 家族サロン 予定
- ◆7月28日(日) 親講座 講師:上田理香氏(KHJ 家族会事務局長) ピアサポート事業について
- ◆8月
- ◆8月

地域ひきこもり支援センターでの相談などについて

ひきこもりに関する相談はどなたでも月曜～金曜に県立精神保健福祉センター☎088-821-4966
又は ひきこもり地域支援センター☎088-821-4508 で受け付けてもらえます。庁舎は移転しましたが(移転先は高知市丸ノ内1-7-36 興林会館4階)電話番号は変わりません。お気軽に相談や個人面談を申し込んでください。車は県庁の駐車場に止めてください。面談の場合は先ず電話で予約をとってから訪問するようにしてください。(無料)

1月からとろろに利用登録している当事者が来所した場合に来所のための交通費の補助として月額1000円を支給します。ただし、当番になっている人は除きます。立正校成会の寄付金を財源としていますので財源がなくなったら支給は停止します。

年会費の払い込み

年会費は一家族3000円です。

現在は平成30年8月から平成31年7月までの年会費を集めています。

(家族サロンと親講座の会場でも未納年度分も含めて納入できます。)

振込先は 四国銀行 山田支店 (普) 0602101

全国ひきこもり KHJ 親の会高知県支部やいろ鳥 代表 竹中あおい

日本財団のダイバシティーフォーラムに参加してきます

5月15日水曜日東京赤坂にある日本財団で第一回ダイバシティーフォーラムが開催されますので頑張って参加してきます。このフォーラムは生きづらさを持った人が就労するためにどのような多様性が考えられるのか、賃金はどのようにして補償されるのか、どのような人が対象になるのかといったことが話されます。

ひきこもり支援は、就労がゴールではありませんが、居場所に来てくれて仲間ができて心のケアが一定達成された人にとっては居場所からの出口があるのと無いのとでは社会参加の時間が違ってきます。日本財団が今回のフォーラムで提起していることが居場所の出口となるのなら高知のひきこもり支援にとって大きな変化になるだろうと思います。フォーラムの内容は来月の月例通信で報告したいと思います。

・・・・・・・・といろの中の様子です・・・・・・・・



といろにあるプラモ。M君作成。

M君はボンドを使って組み立てるプラモは初めてだったと言っていました。

このプラモは50年前も同じものがあつたと会長が懐かしがっていました。

K君作成のガンプラ

高知市内の模型店主催の展示会に出品するとのことでした。

この50年の間にプラモの概念がこんなに変わっていたなんて、浦島太郎の世界に入ったような感じがしています。(会長)



開所日は月火木土の10:00—16:00です。といろ TEL 088-881-2350 です。

といろは何時に来て何時に帰っても構いません。利用料は要りません。